第１５１回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２９年４月２４日提出）

１．題　目：３ポリシーに基づく入学から卒業までの一貫した教学マネジメント
　　－学生の学修成果の把握・授業改善のための授業アンケートへ－

２．日　時：平成 29 年 4 月 3 日（月）13:30～15:00

３．場　所：文教キャンパス　文教スカイホール

４．主　催：教務委員会
　企画・実施： 評価・FD 教育改善専門部会

５．対　象： 全教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに○を記入すること）
　[　　]（1）　教員の教育活動に関するもの
　[　　]（2）　カリキュラムの改善に関するもの
　[　○　]（3）　教育の組織的改善に関するもの
　[　　]（4）　入学者選抜方法の改善に関するもの
　[　○　]（5）　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
　今後の大学教育改革において，教育の質保証のための PDCA サイクルの確立は必須であり，３ポリシー策定およびこのポリシーに基づく入学から卒業までの一貫した教学マネジメントが重要なポイントとなっています。このような中，本年度より，カリキュラムポリシーに基づいた学修評価を教育改善につなげていくことを目的とし，従来実施されている「授業評価アンケート」を見直し，学生の学修行動と学修成果を把握するために「授業アンケート」（学生による自己評価）を実施致します。
　この研修では，本学の３ポリシーと教学マネジメントの概要と「授業アンケート」の趣旨などを理解し，今後の教育改善に生かすことを目的とします。

８．プログラム構成［題目・担当講師］
13:30～13:50　３ポリシー策定に関して　星野　由雅（教学担当理事）
13:50～14:10　教学マネジメントの概要　吉村　宰（大学教育イノベーションセンター）
14:10～14:35　「授業アンケート」の概要　中島　ゆり（大学教育イノベーションセンター）

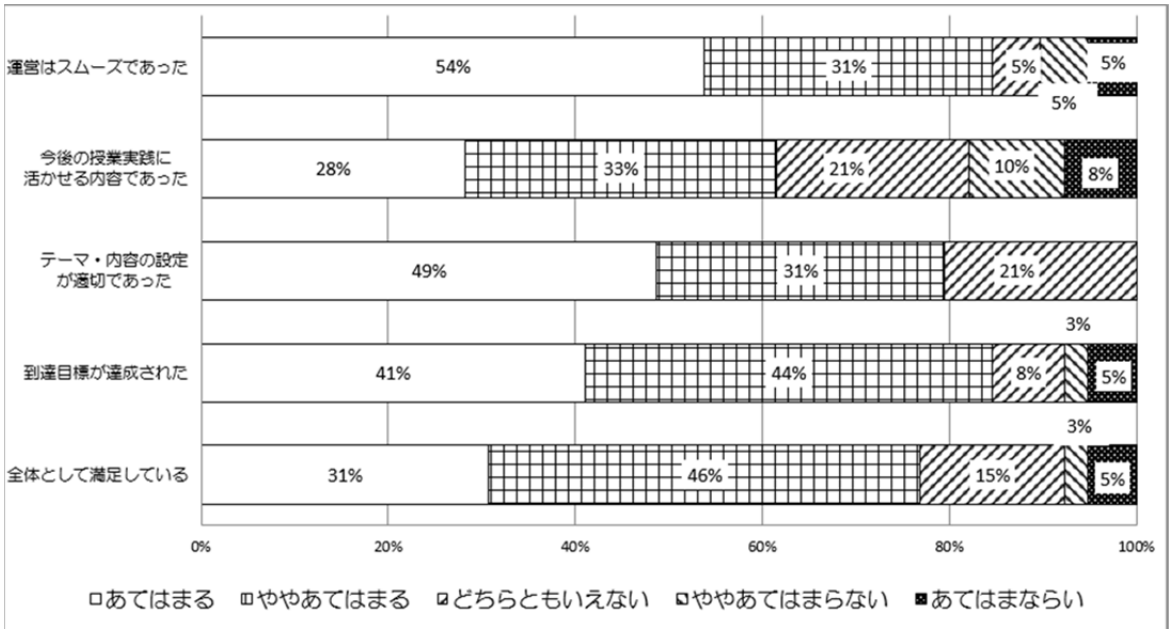
14:35～14:50　質疑応答
14:50～15:00　フィードバックシート記入等

９．参加者：63 名（受講証発行対象者：63 名）
（内訳）

| 所　　属 | 人　　数 |
|---|---|
| 教育学部 | 5 |
| 経済学部 | 1 |
| 工学研究科 | 22 |
| 水産・環境科学総合研究科（水産） | 1 |
| 水産・環境科学総合研究科（環境） | 12 |
| 医歯薬学総合研究科（保系） | 4 |
| 医歯薬学総合研究科（歯系） | 3 |
| 医歯薬学総合研究科（薬系） | 2 |
| 熱帯医学研究所 | 1 |
| 原爆後障害医療研究所 | 1 |
| 病院 | 2 |
| 産学官連携戦略本部 | 1 |
| 海洋未来イノベーション機構 | 1 |
| 大学教育イノベーションセンター | 4 |
| 言語教育研究センター | 1 |
| 地方創生推進本部キャリア支援センター | 1 |
| 学生支援部教育支援課 | 1 |
| 計 | 63 |

## １０．実施したＦＤの成果等

### （１）参加者からの評価（回答者：39 名）




●今回のプログラムについて，お気づきの点・ご意見・ご感想をご記入下さい。

- ポリシーは各国立大学で大差ないのでは？国立大学全体＋各大学の特色にした方がよいのではないでしょうか。
- 理解の難しいテーマでしたので，丁寧にご説明いただき助かりました。ありがとうございました。
- 授業評価から授業アンケートに改革されることが良く理解できました。
- ローデータを使い易くして欲しい。学生個人が特定されることに過度に配慮されてますが，教員の倫理観を信頼して欲しい。倫理不足の教員がいた場合の通報を学生にさせるなど。授業アンケートのQR コードを配布して欲しい。
- 全体的な方針は理解できました。
- 教育の総論としては賛成です。授業アンケートですが，学生の記名記述は良い方法です。授業をたくさんしている先生は大変ですのでストレスをあまりかけない方法が良いです。私の場合は１年１，２科目アンケート対応であれば無理なく綿密な対応ができます。授業のみが主の教員や科目数が少ない教員はすべての科目アンケートに対応できると思いますが，他の数多くの業務をこなしながら授業をしている教員にとっては，理念としては素晴らしいのですが，現実的には多労働となり辛いです。また，学生の回答と本人の成績の相関データがほしいです。
- 説明時間が長すぎたと思います。また，文教スカイホールのような大きな会場では質問もしにくいので，もう少し質問しやすい環境で実施した方がよいと思いました。時期についても，年度初めはＦＤ開催の時期として問題があると思います。
- http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/webform/FD/H29/151fb/について，151 回 FD ですので，/151fd/として頂く方がよろしいのではないでしょうか。

- 3 ポリシーに基づいた話をリンクさせてほしい。
- 質疑にもありましたが，学生がきちんと記入するかどうかが不安です。
- ポートフォリオからの総合評価を行う，とありましたが，どういう評価をして何のために行うのかが良く分かりませんでした。
- ネットでのアンケートにすると，返答率は上がらないと思う。特にポリシーに関する到達度を問う問題は学生がそこまで理解していないと難しいと思う。授業に対する評価の関連項目が少なく教員へのフィードバックが少ないと，教員からの呼びかけも少なくなると思います。
- データを集積して外からも見えるようにするのもいいですが，あまり細かいところまで枠をはめてしまうと，かえって見えなくなるものもあるような気がします。結局は，学生自身の学習とそれをサポートする教員の教育の中身を充実させることが重要なので，大枠と具体的な到達目標を決めて，それに向けて努力した結果を評価するのが良いと思います。
- 「長崎大学のディプロマ・ポリシー」にかかる記述で，1~6 の育成すべき人材像が記載されていますが，このような人材像にあてはまらない学生さんは学位（学士）がもらえないという曲解もあり得る記述ではないでしょうか。そもそも，入学の時点で，基本的な資質を見抜くことができるとも考え難く，また，小学校からの積み上げで到達できるものであり，大学の 4 年/6 年間の教育で到達できる目標とは言えないのではないかと思います。
- 今後の授業展開に役立つ内容でした。
- 「授業アンケート」については，これまで授業の終わりに時間をとってシートに記入させ，その場で回収し，集計しやすかったが，今後 Web 方式になると難しく感じる。これまで同様，授業最終日の場で時間をとって回答させる必要性があると思う。スマホの回答時間がどれくらい必要なのか気になった。
- こちらの勉強不足ということは重々承知なのですが，教育専門用語やカタカナ語をもう少し使用しないで説明いただけると，もっとわかりやすかった気がします。
- 授業アンケートについては，概要は理解できたが，もう少し具体的な内容で説明してほしかった。
- アンケートの内容が今後の授業の改善にどの程度役立つのかわからないが，1 年間行ってみてアンケートの改善の余地について，検討していただきたい。
- 授業アンケートに関しては督促が来ても，出さない学生は多いと思う。今回のアンケート内容の話だと，学生が 3 ポリシーに関する理解をもたないと，アンケートの解答意義があいまいになると考えられる。また，教員の授業に反映されない内容であると，中には呼びかけに積極的にならない教員も出てくると思った。
- 星野理事のお話から吉村先生へのお話への移行で，やや飛んだような印象を受けました。ポリシーについては，実際に対応された先生方以外の先生方や事務職員にはよくわかっていない部分も多く，少しこのあたりの話をしていただく機会があればよいかもしれない，と思いました。授業にはかかわりませんので，4 は「どちらとも言えない」を選択させていただきました。
- アンケートを全員に実施するのは確かに難しい。しかし有意義な回答を得られるよう，面白い，学生が興味をそそられるような質問をたくさんしてみたら，回答率が上がるかもしれない。

- 3ポリシーに基づいた話をリンクさせてほしい。
- 学生が「授業アンケート」を記載するということは，毎回の授業での動機付けがいかに重要かと考えます。
- 医学部の授業形態とは異なるためか，ほぼ理解できませんでした。
- 質疑応答で最後の先生が仰っていた「透明性の確保」が重要だと思われる。ある講義に関して，回答した学生たちおよび教員，またできれば外部からもそれらの結果を確認できると良いと思う。一方で，複数の教員が一つの講義を担当している場合は，アンケートの回答が最終講義を反映しがちになるのではないか。教員毎の回答欄ができると良いかもしれない。また，匿名性は確保できないが，研究室に配属された後の卒業研究などの研究の指導も評価されて然るべきだと考える。FD の受講証明書は PDF で十分だし，さらに言えば教員の評価基礎データベースシステムに入力する必要がないと労力の削減につながり有り難い。

●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容についてご意見・ご要望をご記入下さい。

- 新ポリシーを生かす講義，評価の方法-今までとの変更方法のポイント
- 中島先生のおっしゃった別機会の FD もぜひよろしくお願いします
- 成績評価が教員により様々なので，学生が困っているようです。このあたりを取り上げてもらえないででしょうか？
- 授業アンケートの分析方法や活用方法について
- 多くの有意義な FD が提供されており，特に意見等はありません。
- 産業人として活躍できる人材教育プログラム。工学部は卒業生のほとんどが産業人となりますので，これにつきます。
- 学生とともに参加が可能な FD
- 学生の協働学習における，評価方法を知りたいです。グループワークでは，まじめな学生に，不真面目な学生がおんぶにだっこ状態となり，どう評価するのか分かりません。
- 教育改善の取り組みとして成功した事例，意欲的ではあったが必ずしも成功しなかった事例などを紹介して，経験を共有するような仕組み（例えば，Web 上で）があると良いと思います。そのような中で他の教員から特に関心の高い取り組みを FD で取り上げてはいかがでしょうか？
- 基礎的理数系科目（物理，数学，天文学など）において，思考力や判断力をみる試験問題作成の方法。学生から授業に対する建設的なフィードバックを得るよい方法。
- 充分網羅されている気はします。
- パワハラ，セクハラについて。道徳について（学生の個人的立場についての接し方等）。
- 今回の内容を継続していただければと思います。
- 詳しくは存じ上げませんが，ネットで学生に試料を配ったり，アンケートを採ったりするシステムがあると聞きます。それについて教えて頂きたいです。
- Q 制で行う１８０分の講義のやり方と意味に関して
- 教育者・研究者の在り方，2. 長崎大学の目指す将来

（２）総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

今年度から、３ポリシーに基づいた改革がはじまり、そのひとつが「学生による授業評価」から「授業アンケート」への転換である。内容としては、本学の３ポリシー、教学マネジメントの説明からはじまり、これらに沿った「授業アンケート」の考え方、実施方法に関するものであった。このアンケートは、これまでの「学生による授業評価」から大きく変わることから、クォーター制の絡み、授業開始前の周知ということで、４月の初日の開催となったが、思った程参加者は多くなかったのは残念であった。質疑応答やフィードバック回答からすると、３ポリシー策定に関わった教員や教務関連の業務を行っている教員と一般の教員の間において、今回のＦＤに対する理解度の差がでているようにも思われた。「授業アンケート」は、授業を担当する教員全員に関わることでもあり、また、教学マネジメントに関しては、学生の大学教育全体に関わることでもあり、今後非常に重要となる。文教地区での開催のみならず、坂本地区、片淵地区においても同様なＦＤを開催するか、ＨＰなどを利用した周知などが必要であると思われた。

（文責：若菜啓孝　大学教育イノベーションセンター・教授）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　星野 由雅
e-mail：hoshino@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
　主査　寺川 美穂
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp　　電　話：内線 2077